

修学院小学校運営協議会だより

第30号 学校運営協議会理事長 青木 克之 修学院小学校長 鎌田 賢二
令和6年12月17日発行



師走の候、平素より、修学院小学校運営協議会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。今年は秋の季節からインフルエンザが流行し、学級閉鎖が発生しております。子どもたちの健康を第一に考え、校内では感染予防に努めております。このような状況下においても、地域の皆さまの温かいご支援とご理解に心より感謝申し上げます。

今年6月21日(金)に、学校運営協議会の役員の皆様と修学院小学校教職員とで、学校運営協議会を開催いたしました。その会議では、修学院小学校をよりよい学校とするための話し合いを行いました。引き続き、学校と地域が一体となって、子どもたちの健全な成長を支えて参りたいと考えております。

学校安全環境委員会

10月4日(金)2校時に不審者侵入対応訓練を実施しました。不審者侵入対応訓練では、不審者が侵入した時の緊急通報の聞き方や避難の仕方等を知り、混乱することなく整然と素早く行動できるように取り組みました。事後指導として、PTA環境委員の方がご用意くださった動画を視聴しました。また教職員研修として、下鴨警察署の方から「さすま」などを使って不審者の取り押さえ方や簡単な護身術を教わりました。

また10月24日(木)に、学校安全委員会を開き、校内安全点検や安全教育、そして地域の安全点検について話し合いました。1月17日(金)の避難訓練に、学校安全環境委員の方々にも参加していただき、ご意見を頂きます。これからも、学校内外の安全確保や健康環境の改善を目指し活動していきます。



学び支援委員会

学びの支援員会では、学習活動に関わる支援をしたり、子どもたちの学びについてサポートしたりしています。今年度も伝統文化を伝える学習として、2月26日(水)27日(木)に6年生茶道教室を実施いたします。先人から受け継がれてきた茶道の礼儀作法やおもてなしの精神を学びます。



開かれた学校委員会

開かれた学校委員会では、年2回実施の『子ども育みアンケート』の評価項目の検討・結果の分析を行っています。保護者・地域への情報発信として、学校運営委員会だよりや校長室だより「こころ」等を発行しています。これからも、よりよい学校教育に向けてサポートを続けていきます。

修学院散歩 修学院離宮

修学院離宮は、17 世紀中頃に後水尾上皇によって造営された離宮で、浴龍池と呼ばれる人工池を中心に広大な庭園と王朝文化を誇る建物から構成されます。明治時代に整備された松並木の道と周囲の田畑を含む面積は 545,000 m²を測ります。後水尾上皇は、63 歳から 84 歳までに約 70 回の御幸をされました。御幸を見物する人たちが沿道に集う様子が絵巻物に残されています。離宮造営後、霊元上皇や光格上皇の御幸も行われ、離宮内の遊覧や浴龍池での舟遊びなどが行われました。なお、修学院離宮の名称は、かつてこの地にあった寺院名称「しゅがくいん」を冠しました。

離宮の南西 300m に所在する鷲森神社では、毎年、離宮近接の田圃で収穫された餅わらで本殿や鳥居などの注連縄を神社宮掛・総代で縛っています。今に引き継がれた伝統をいつまでも守っていききたいと注連縄を作りながら痛感しております。

(文責 小池寛)



開かれた学校委員会 コミュニケーションシート(子ども育みアンケート)より

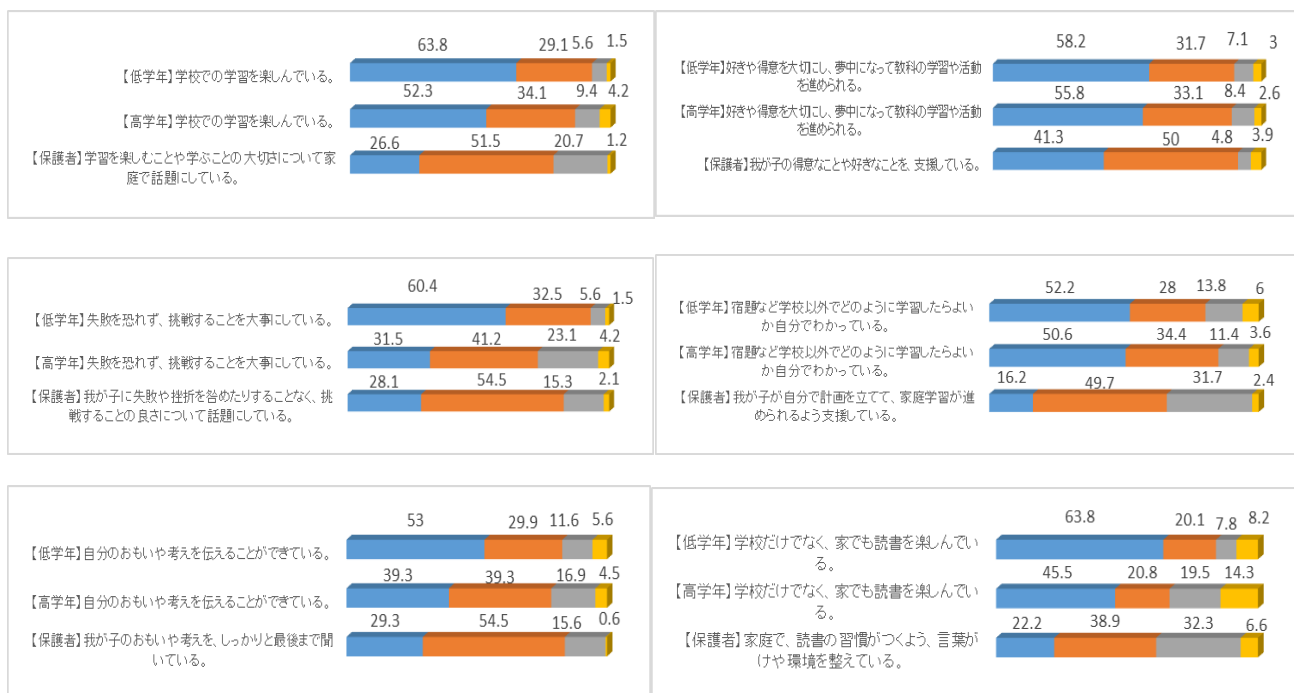
1年に2回実施しております子ども育みアンケートの、1回目の結果と分析をお知らせいたします。

家庭と学校が協力して子どもたちの学校生活をより良いものにしていくために、児童・保護者・教職員が、自己評価という形で学校生活・家庭生活を振り返って行っています。このアンケートの結果の分析を元に現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていきたいと思ひます。また、学校運営協議会の「開かれた学校委員会」の委員の方々に、意見を頂いたものも合わせてお知らせさせていただきます。お忙しい中アンケートへのご協力ありがとうございます。修学院小学校がよりよい学校となるよう教育活動を進めて参ります。

アンケートの項目につきましては「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の結果と考察をお知らせしたいと思ひます。

確かな学力

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



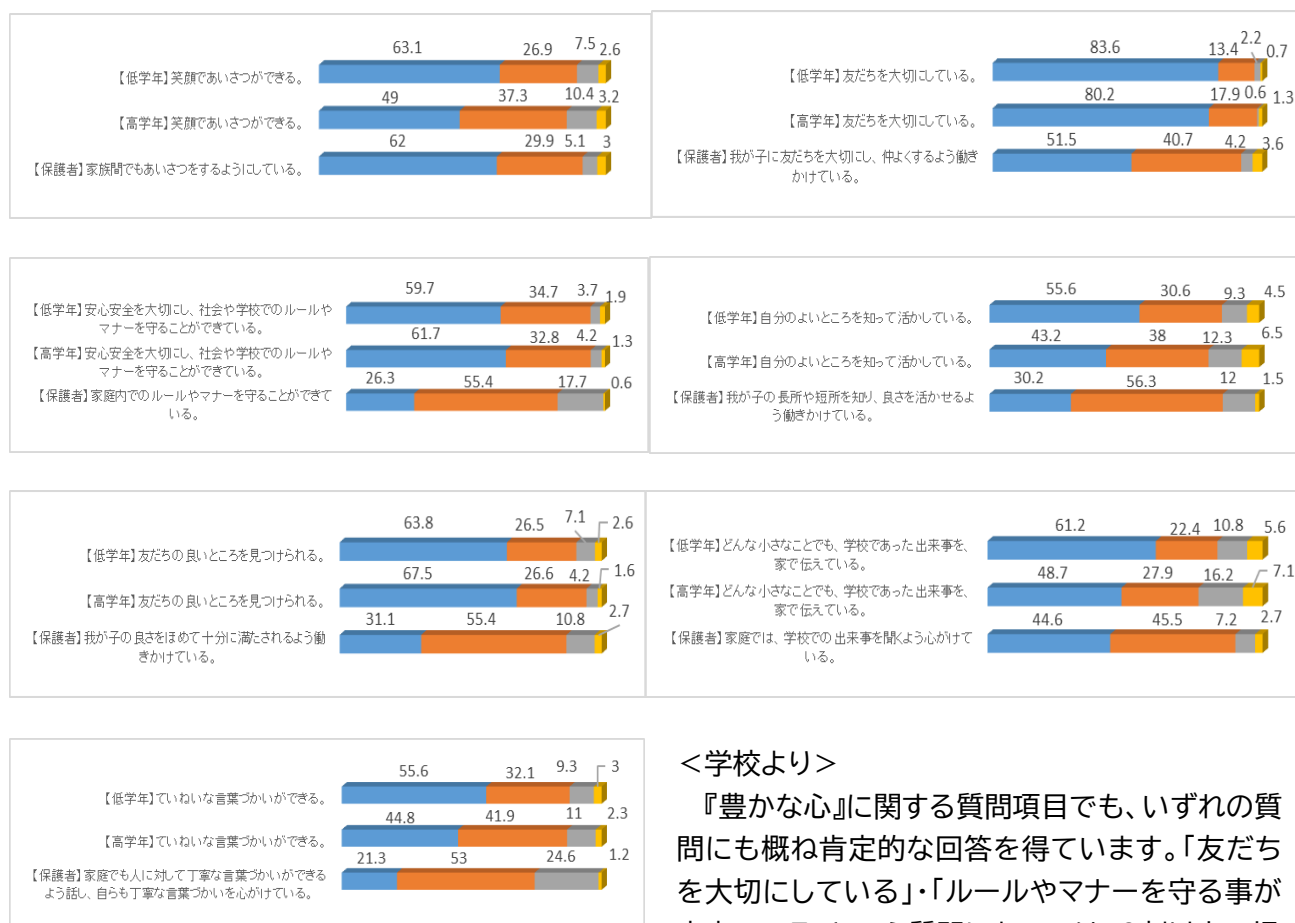
<学校より>

『確かな学力』に関する質問項目では、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「学校での学習を楽しんでいる」という質問においても、低学年で92.9%、高学年で86.4%の児童が「(よく・だいたい)できている」と答えており、子どもたちが前向きに学習に取り組んでいることが分かります。「学習を楽しむことや学ぶことの大切さについて家庭で話題にしている」という保護者の項目でも、78.1%ができているとお答えされています。こちらのアンケート項目は、例年肯定的な回答を頂いています。保護者の方々の学習への高い期待を感じるとともに、学校としても子どもたちの学びへのサポートを充実して参ります。

「宿題など学校以外でどのように学習したらよいか自分で分かっている」という質問においては、低学年で19.8%、高学年で15%の児童が「(あまり)できていない」と答えています。また「学校だけでなく、家でも読書を楽しんでいる」という質問においても、低学年で16%、高学年で33.8%の児童が「(あまり)できていない」と答えていることは、今年度も課題としてとらえています。家庭学習の取り組み方を、児童に分かりやすく提示し、児童の個性に合った学習への取り組みにつなげていきます。また、学校司書と協力し、普段の授業で図書室を活用した学習指導を積極的に行います。そして、お話しら隊や図書ボランティア等、地域の方にもご協力をいただき、本に触れあう機会を確保していきます。

豊かな心

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



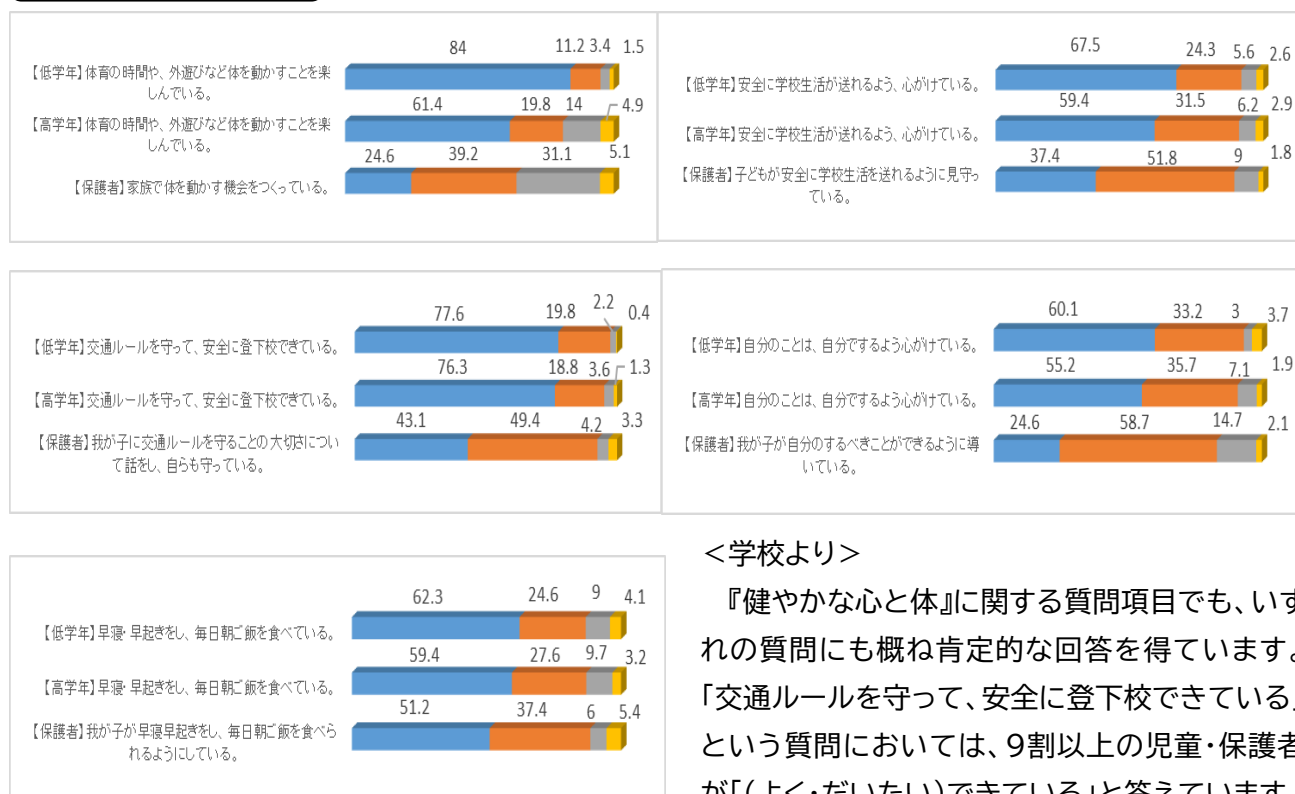
<学校より>

『豊かな心』に関する質問項目でも、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「友だちを大切にしている」「ルールやマナーを守る事が出来ている」という質問においては、9割以上の児童が「(よく・だいたい)できている」と答えています。

そして、「自分のよいところを知って活かしている」「友だちの良いところを見つけられる」という質問においても、9割程度の児童が「(よく・だいたい)できている」と答えています。これからも、自分や友だちの良さを認め合い、楽しく学校生活を過ごしてほしいと思います。

健やかな心と体

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



<学校より>

『健やかな心と体』に関する質問項目でも、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「交通ルールを守って、安全に登下校できている」という質問においては、9割以上の児童・保護者が「(よく・だいたい)できている」と答えています。

また「自分のことは、自分ですよう心がけている」という質問においても、9割以上の児童が「(よく・だいたい)できている」と答えており、自分のことは、自分ですするという自立の気持ちが育っていることが伺えます。

そして、「早寝・早起きをし、毎日朝ご飯を食べている」と多くの児童が答えていますが、「(あまり)できていない」と答えている児童もいます。学校でも、長期休業後にすこやか週間を設け、『早寝・早起き・朝ご飯』をはじめ、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適切な運動等の指導を行っています。各家庭でも『早寝・早起き・朝ご飯』へのご協力よろしくお願い致します。

「こども育みアンケートの結果と分析」への提言 －開かれた学校委員会での討議を中心に－

学校による各項目のアンケート結果分析にも記載されているように、ほとんどの質問について、肯定的な回答が寄せられています。これは、ひとえに教職員のみなさまの教科指導や学校生活の改善への取り組みがしっかり児童に伝わっていることを示すものとして受け止めております。

その中でも読書習慣については、高学年の家庭内読書の比率が低下しており、その背景にインターネットやYouTubeなどの視聴を危惧する意見がありました。また、学校であったできごとを家庭に伝えられている比率が、他の質問に比べてやや低いことについて、その背景の分析を求める意見がありました。最後に、小学生の健全な成長に欠かせない「早寝・早起き・朝ご飯」については、10%の児童が否定的であることを改善すべきとして、学校にさらなる取り組みの必要性を提言しました。なお、保護者の皆様の自由記述が激減しております。さまざまなご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

学校運営協議会は、今後とも学校の教育環境の改善に向けて様々な提言をするとともに、その改善に全面的に協力をしてまいります。

(文責 小池寛)